

10年のあゆみ

1962年～1971年



湯河原ロータリークラブ



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること；
2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は尊重されるべきであると云う認識を深めること；
そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

出席率優良クラブ





国際ロータリークラブ認承状

湯河原ロータリークラブ

創立 昭和37年4月20日(1962)
承認 昭和37年5月7日(1962)
伝達式 昭和38年3月29日(1963)
地域 湯河原町土肥広町通りより鍛冶屋・郡道線を経て東海道線より
町道吉浜4号線を北上して川掘部落を除く湯河原町

四つのテスト

—— 言行はこれに照してから ——

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

歴代会長・幹事



初代会長 天野弘之君



二代会長 天野弘之君



三代会長 小沢栄三郎君



四代会長 直居重雄君



五代会長 榎原正愛君



初代幹事 加藤福松君



二代幹事 加藤福松君



三代幹事 八亀昌美君



四代幹事 杉山 実君



五代幹事 五味淳芳君



六代会長 八亀昌美君



七代会長 高橋柳吉君



八代会長 吉光開爾君



九代会長 加藤福松君



十代会長 八亀昌美君



六代幹事 稲葉 隆君



七代幹事 三輪宣照君



八代幹事 八亀民雄君



九代幹事 浅田真章君



十代幹事 林 武満君

ターゲットは生きている！

(R I 会長・地区ガバナー・会長)

- 1961 J・A・アビイ (米) 358G 中村米平 天野会長
行動に努めよ。
- 1962 ラハリー (印) 358G 湯浅恭三 天野会長
心の中に火をもやせ。
- 1963 カール・ミラー (米) 358G 水沼政久 天野会長
世界的大交歓。
- 1964 ペッテンギル (米) 359G 笹部 誠 小沢会長
ロータリーに生きよう
- 1965 テイン・ストラ (蘭) 359G 鱸正太郎 直居会長
経験と実績の上にロータリーの諸計画を築き、同時に今後一層の前進を計る。
- 1966 エバンス (米) 359G 白山源三郎 橋原会長
「超我の奉仕」によりロータリーを通じて、よりよい世界を創ろう。
〔実行すべき10項目〕
- 1967 ホッジス (米) 359G 大沢伊三郎 八亀(広)会長
ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に。
- 1968 東ヶ崎 潔 (日) 359G 箕浦多一 高橋会長
参加し、敢行しよう Participate
- 1969 コンウェイ (米) 359G 上野 泰 吉光会長
再検討し、刷新しよう REVIEW and RENEW
- 1970 ウオーク (米) 359G 入江直祐 加藤会長
隔たりを取り除こう Bridge the Gaps
- 1971 アンストGブライトホルツ 359G 田中忠雄 八亀(昌)会長
善意は先ずあなたから

湯河原 R・C 現在會員名簿

1. 天 野 弘 之	湯河原町宮上623	TEL 62-2131
2. 相 沢 安 信	湯河原町宮上542	TEL 62-3785
3. 浅 田 真 章	湯河原市土肥 2-1-3	TEL 62-3974
4. 榎 本 清	湯河原町鍛冶屋412	TEL 62-3080
5. 二 見 一 男	湯河原町宮下	TEL 62-3097
6. 林 武 藏	湯河原町吉浜1,601	TEL 62-3020
7. 平 間 茂 夫	湯河原町宮上552	TEL 62-2049
8. 春 宮 寛 治	湯河原町宮下261	TEL 62-3062
9. 五十嵐 寅 治	湯河原町宮上673	TEL 62-2747
10. 稻 葉 隆	湯河原町宮上349-1	TEL 62-8155
11. 石 川 雅 雄	湯河原町宮上750-1	TEL 62-2990
12. 伊 藤 邦 彦	湯河原町宮上528	TEL 62-3361
13. 岩 井 徳太郎	湯河原町土肥 4-16-19	TEL 62-5900
14. 岩 立 信 也	湯河原町宮上459	TEL 62-2457
15. 加 藤 福 松	湯河原町宮上480	TEL 62-2188
16. 小 松 行 三	湯河原町宮上483	TEL 62-3325
17. 熊 野 浩三郎	湯河原町宮上429	TEL 62-3636
18. 室 伏 光 雄	湯河原町宮下533	TEL 62-2771
19. 直 居 重 雄	湯河原町吉浜1826	TEL 62-3449
20. 丹 羽 康 之	湯河原町宮上389	TEL 62-2138
21. 西 山 清	湯河原町宮下211-1	TEL 62-2955
22. 西 山 晃 一	湯河原町宮下4-10	TEL 62-3096
23. 中 山 厚	駿河銀行湯河原支店	TEL 62-5121
24. 及 川 修 助	湯河原町土肥	TEL 62-3330
25. 大久保 甫	湯河原町宮上671	TEL 62-3161
26. 笹 子 定 雄	横浜銀行湯河原支店 藤沢市西宮 1-1-11	TEL 0466-23-1049
27. 杉 山 実	湯河原町宮上348	TEL 62-4131
28. 菅 原 宏	湯河原町宮上261	TEL 62-4136
29. 空 本 善 吉	湯河原町宮上394	TEL 62-7057
30. 高 橋 実	湯河原町宮上458	TEL 62-2223
31. 高 橋 柳 吉	湯河原町福浦329	TEL 62-2700
32. 八 亀 広 藏	湯河原町宮上615	TEL 62-3151
33. 八 亀 昌 美	湯河原町宮上517	TEL 62-2145
34. 八 亀 民 雄	湯河原町土肥 1-4-8	TEL 62-3747
35. 吉 光 閔 爾	黒須序院土肥 1-5-1 二宮町百合ヶ丘 1-10-14	TEL 0463-71-8077
36. 吉 田 充	湯河原町土肥 5-16-7	TEL 62-7532

湯河原ロータリークラブ

創立十周年記念式典プログラム (13:00~14:10)

司 会	式典幹事 / 林 武蔵	S A A / 岩立信也	ソングリーダー /
1. 点 鐘 (13:00)	会 長	八 亀 昌 美	
2. 会式之辞	式典副委員長	直 居 重 雄	
3. 国歌斉唱・ロータリーソング (奉仕の理想)			
4. 来賓紹介	会 長	八 亀 昌 美	
5. 式典委員長挨拶	式典委員長	天 野 弘 之	
6. 特別代表挨拶	特別代表	宮 坂 寛 次郎	
7. 会長挨拶	会 長	八 亀 昌 美	
8. 物故者黙禱			
9. 記念事業披露	実行委員長	加 藤 福 松	
目録贈呈	式典委員長	天 野 弘 之	
10. 記念表彰	会 長	八 亀 昌 美	
11. 来賓祝辞	第359区ガバナー 創立時分区代理 スポンサークラブ会長 湯河原町長	田 中 忠 雄 岩 崎 祐 低 岡 村 俊 彦 高 杉 義 利	
12. 祝電披露	式典幹事	林 武 蔵	
13. ロータリーソング (われらのなりはい)			
14. 閉式の辞	副 会 長	稲 葉 隆	
15. 点 鐘 (14:10)	会 長	八 亀 昌 美	
諸事おしらせ	式典S A A	岩 立 信 也	

祝 宴 (16:30~18:00)

司 会	親睦委員長	八 亀 広 蔵
▲開会のことば	式典副委員長	大久保 甫
▲お祝のことば	バストガバナー	佐久間 長吉郎
▲乾 杯	認証時スポンサークラブ会長	柴 田 吟 三
▲祝 宴		
余 興		
▲万 歳 三 唱	第三分区代理	箕 島 清 男
▲閉会のことば	祝宴司会者	大久保 甫
▲ロータリーソング (手に手つないで) ソングリーダー		

湯河原 R・C 10周年記念式典収支決算書

収入の部

科	目	予 算	決 算	備 考
	10周年特別積立金	877,212	914,198	
内 訳	(42年度)		(164,998)	元金 135,000 利息29,998
	(43年度)		(145,511)	" 125,000 " 20,511
	(44年度)		(212,672)	" 195,000 " 17,672
	(45年度)		(206,017)	" 195,000 " 11,017
	(46年度)		(185,000)	" 185,000 " 0
	10周年特別会費	360,000	360,000	10,000×36人
	祝 金		171,000	
内 訳	各 ク ラ ブ	140,000	(63,000)	箱根5,000他
	小田原クラブ	85,000	(25,000)	小田原20,000
	湯南クラブ	10,000	(50,000)	小田原北5,000
	湯河原町長他	45,000	(33,000)	
	社会奉仕委員会	2000,000	200,000	
	合 計	1,577,212	1,645,198	

支出の部

科	目	予 算	決 算	備 考
	記 念 事 業 費	811,600	784,800	
内 訳	植 樹 事 業	700,000	(673,200)	植樹 472,500
	ロータリー財団	61,600	(61,600)	308円×200ドル
	米山奨学会	50,000	(50,000)	
	10周年記念誌発行	200,000	200,000	
	祝 賀 会 費	448,000	460,094	
内 訳	料 理	240,000	(240,000)	
	飲 も の	72,000	(72,000)	
	会場設営費	45,000	(45,000)	
	御土産代 会 合 費	41,000 50,000	(61,600) (41,494)	700円×88人
	予 備 費	117,612	26,715	
内 訳	印 刷 代		14,600	
	名 札 等		10,150	
	事務用品		1,965	
	別途会計運用		173,589	10周年記念行事剰余金
	合 計	1,577,212	1,645,198	

10周年記念式典スナップ



昭和47年4月20日を迎える。この日こそ待ちに待った日、衆智を集めて順備に万全を期したが、よき成果を得られるや否かの不安が、かすかに誰の胸にもあった。ボーイスクアウトの諸君にも、西山君の眉宇にも。



湯河原観光会館の玄関、ここに受付が設けられる。吉光君以下順備ととのい、来賓各位の御入場を待つ。



田中ガバナーと、蕨島分区代理の笑顔。式典の時が刻々とせまる。



観光会館応接室が、来賓の控室になった。

飯	沼	相
岩	崎	三
今	井	祐
宮	坂	徳
直	居	左
		衛
		門
		郎
		寛
		次
		郎
		員



式典幹事、林武蔵君の司会に依り、いよいよ記念すべき10周年の式典がはじまる。八亀昌美会長の点鐘、式典副委員長、直居重雄君の開式の辞に、万感交々いたるの会となった。



会長八亀昌美君の点鐘の余韻の残る間、式典副委員長直居重雄君の、別項の如き感銘深い開式の辞だった



開会のことば

直居重雄

本日、当湯河原ロータリークラブ10周年の記念式典並びに行事の開催に当りまして、来賓各位には、ご多忙のなかを、また、ご遠方のところをお願いなくご臨席下さいまして、真にありがとうございます。ご承知の方も少なくないと存じますが、丁度10年前に、同じこの会場で行われました認証式の記憶が、只今私の脳裡にいと鮮かに甦ってまいりました。それは色々ございますが、とりわけ印象の深いものは認証式のときにご臨席下さいましたロータリーの役員や先輩の方々が、今日もますますご健在で、この式場に再びお元気なお姿を拝見することができましたことで、真におなつかしく、浅からぬロータリーの因縁を今更のように感銘したことでございます。それからこの10年間に目覚ましく成長しましたロータリーの友垣である地区内多数の各クラブ代表の方々のご友情など、彼れこれ思い合わせまして、はなはだ感慨に堪えないものがございます。そしてこのように皆様方多数のロータリアンのご奉仕とご友情のお蔭で、今日のささやかな催しに一層の氣勢と、光彩とを添えていただき、有意義な記念行事として、当クラブ発展の歴史に輝かしい一頁を飾らせていただくことができました。そしてこの後いつまでも好き思出でとなり、語り草になることと存じます。ここに会員一同を代表しまして、来賓各位のご厚志とご友情に対し厚く御礼申し上げますと共に、今後ますますご指導とご厚誼を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。では、只今からプログラムに従い、式典を進行させていただきます。



国歌斉唱、ロータリーソング、来賓紹介のあと、式典委員長、天野弘之君より、10周年の心あたたまる挨拶を聞く。



10年前発足の時、特別代表として御尽力を願った小田原R・Cの宮坂寛次郎君の挨拶にこれからの歩んで行く道への覚悟を更に新にして行った。



10周年記念式典によせて

天野 弘之

本日茲に田中ガバナーはじめ来賓各位をお迎えして10周年記念式典を挙行致しますことは当クラブの最も欣快とするところであります。10年の歳月はこのクラブをもようやく一人歩きできる迄に育てあげました。

最初はロータリーを如何に読み如何に聴くかということに精一杯でしたが次第にロータリーの雰囲気も身につき、創立当時の兎角気負いがちだった空気もすっかり落ち着いてたくまぬなごやかさが漂う様になりました。

演出過剰の目立つ今日社会にあつてつとめて人目を追わず蔭にかくれた小さな善行や親切を積むことこそ温い人間同志のふれ合いを深め最近よく口の端にのぼる人間性の回復にも通ずるものと信じます。

社会に感謝し社会に報いる為には友情の手を取り合つて周囲に接触し奉仕しなければなりません。

その意味において湯河原クラブは土地に定着した小さいながら魂をもったクラブとして人々の心に美しい影を投じ、この地域に少なからぬ関心を引き起しております。そして、やがてはより広い社会に、より大きな貢献できる日も夢ではないと思われまふ。

その日を待ちつつ、今茲に各位の不断の御指導と尚一層の御鞭撻を切にお願い申し上げます。

本日はこのクラブ創立の際の忘れられない方々、更にこの10年間手を取り足を取りここの迄にして下さった各地並に当地の先輩の方々の御臨席を得てこのささやかな式典が開けましたことを心より光榮に存じております。

御多忙中のところをお差繰り賜りました御懇情に深く深く感謝申し上げます。



会長八亀昌美君より別項の如き挨拶あり、くしくも記念すべきこの時の会長であることの名譽と責任を率直に述べる。



実行委員長加藤福松君より記念事業の披露があった。ロータリー財団へ寄付200ドル、米山記念奨学会へ湯河原町、記念植樹(別項浅田真章君の記事参照)



気持も新たに

会 長 八 亀 昌 美

私達湯河原ロータリークラブは、スポンサーの小田原ロータリークラブ・宮坂特別代表により、10年前の今日——昭和37年4月20日創立致しまして、同年5月7日国際ロータリーより加盟承認を得、チャーター伝達式を翌38年3月29日行いました。これは一重にスポンサークラブの良き御導指に依る事は勿論であります。初代天野会長の並々ならぬ御努力と24名の創立会員の協力の賜であると存じます。

当クラブは箱根クラブ、小田原北クラブの兄弟クラブがあり、又この10年の間つまり昭和44年には当クラブがスポンサーとなり、会員加藤福松君が特別代表となり、湯河原南クラブの創立拡大を行った事は特筆に値するものと思います。

当クラブは「ロータリー一家」として、親睦と融和のある和やかなクラブであり、歴代会長は、その精神を基に夫々の持味を生かして、「奉仕の理想」に努力して参りました。

私はたまたま本年度、この記念すべき年に、会長の重責を負う光栄に浴しまして、本日多数の来賓の御臨席を賜り、茲に創立10周年の式典を挙行出来ましたことは衷心より感謝申上げる次第であります。

私達会員は過ぎ去った10年の歳月を反省し、今後の抱負、希望をいろいろ胸に描いて、気持も新たに、今日の10周年の記念の日を迎えたわけであります。

10年と云う一つの区切りは、私達に一つのけじめを与えます。この区切りがあることは精神的にも刺激があり、新しい気分、改まった気持ちに私達をさせてくれるものであります。

今ここに心新たに益々なごやかに、質的、量的ともに増強致し度いと存じますので、当クラブの向上発展に来賓皆様方のより一層の御援助をお願い申し上げますと共に、会員各位、御家族共々今後の御協力を希望してやみません。

最後に逝去されました会員小伝広君の御冥福をお祈り致しまして、挨拶の言葉といたします。



湯河原R・Cの 10周年を祝って

創立時分区代理 岩崎 祐孝

湯河原ロータリークラブの10周年を喜び10年の歩みを拝見して深く敬意を表します。

湯河原R・Cは私の関係した13R・Cの9番目として最も均勢の取れたR・Cとして誕生した地域社会に密着した奉仕活動。真に湯河原町のロータリークラブと言えるでしょう。然も外に向っても立派な活動をしている。真に均勢の取れた最も望ましいR・Cの在方だと思えます。

昭和37年4月20日穏かに晴れた春日。谷川のせせらぎ深い山合の古木に囲れ野鳥の囀りを聞き近代的な会議室での厳肅な創立総会平和なロータリーの姿を象徴して私には深い印象として今も残って居ります。

会は故人の中村米平当時のガバナーは常に「拡大の無いところに発展はないロータリーも例外ではあり得ない」と拡大を推進して居り私の担当して居た地域がトップになり私と多くのR・Cの創立総会に出られたが湯河原R・Cの創立総会に出て「こんな長閑な雰囲気の中でR・Cの創立総会が行われ然もそのクラブが立派な会長のもとに立派なメンバーが集り総会の内容に弾力を感じるまことにガバナーとして幸福を感じます」。以来10周年を迎える今日まで創立総会に期待した以上にその内容は大きく発展し益々湯河原町の中で大きな存在となりクラブの理想とする均勢の取れた組織と活動は外に向てはR・Cの存在を高からしめ内では常に楽しい集であることを出席の度に感じます。クラブの発展は初代の会長と幹事に大きな影響を受けると言われます。天野・加藤両氏に敬意を表しますとともに天野・加藤の両氏は恵れたメンバーのクラブ会長になり幹事になって幸せだったと思えます。この10年私がロータリーでその事をやる度に協力を賜ったことに深く感謝しクラブの更に大きな発展を祈ります。



伸びゆく湯河原クラブ

パストガバナー 佐久間 長吉郎

湯河原は、私にとって懐しい思い出の深い土地の一つである。私には、熱海・湯河原は種々の意味で縁があった。東京を早立ちして、門川で人車鉄道を下車して温泉を訪ねた時代からのお馴染みである。私が地区ガバナーとして小田原クラブを訪問した時（昭和34年）偶然顔を合わせたのが、当時小田原クラブの会員天野弘之君であった。同君とは旧知の間柄、その後湯河原にロータリークラブ設立を懇望していたが、同君の熱心が実って昭和37年首尾よく湯河原に、ロータリークラブが出現した。そんな関係から、設立の前後その経過をうかがって応分の心配もしていたので、湯河原クラブの誕生を聞いてとくに心嬉しかったのである。而も会員は、皆気が揃っていて、ロータリーに熱心な人々の集りで、何かの機会に数回訪問して、その度に愉快的印象を残しておった。湯河原南の立派なエクステンションクラブを設立するの盛況を呈した。今後ロータリーの四大奉仕に更に一層の活躍をされることは間違いないところである。10周年の記念に際し、私の思い出を叙してお祝の詞とする。



式典委員長天野弘之君より田中ガバナーへ、ロータリー財団と米山記念奨学会の寄付贈呈のあと、湯河原町長へ記念植樹の目録を贈呈する。



八亀会長より天野弘之君以下5名、記念表彰を行う。10年の長い間無欠席であった方々何よりも御健康であった事を喜ぶ。

天	野	弘	之	君
八	亀	広	義	君
加	藤	福	松	君
吉	光	閑	爾	君
八	亀	昌	美	君



天野さんとの出会い

創立時拡大委員 清瀬二郎

小田原に小田原ロータリークラブが出来ましたのは昭和29年8月でありまして翌春に行われたチャーター伝達式は箱根の富士屋と観光会館とで行われ大変な盛会でありました。その時初めて天野弘之さんにお会いしたのではないかと思います。天野さんは湯河原に御在住でありましたが湯河原は当時、小田原ロータリーの地区内でありましたから小田原クラブへ御入会になって居られたものと思われれます。そこで天野さんはロータリーの良さを身につけられ湯河原に小田原ロータリークラブから離れて新しいロータリークラブを創ろうと御考えになったのであります。私は鶴沼に住って居りまして湘南電車で東京へ通勤して居るのであります。或日帰宅の電車の中で偶然天野さんと一語になりましてその御考えを承りました。湯河原の様な市にもならない小さな町にでもロータリークラブを作ってよいものであろうか。温泉地なので旅館と土産物店とが多くて職業分類が適当に取れるであろうかと心配して居られました。しかし私はロータリーと言うものは地域社会に奉仕したら親睦を旨とするのが目的であるから地域の大小は問う所でないし、また地域にはそれぞれ地域の特色があるべきで温泉地は自然温泉地らしい職業分類になるのは当然であると申し上げました。

当時は日本のロータリーは6つの区に分れ関東全域が国際ロータリー第355区であり東京クラブの柏原君がガバナーでありました。柏原君は日本全体が1つの区であった終戦直後からロータリーの拡大を心掛けて居られましたが、昭和34年にガバナーに御就任になった関係上その後を私が御世話して居りました。天野さんから湯河原にロータリーをとの御話を承ったのは、昭和46年の秋か47年の始めかと思いますがそれから或は湘南電車の中で、或は天野さんが私のホームクラブである東京南ロータリークラブに御出で頂き例会場で御打合せをした事を覚えて居ります。

昭和37年4月20日に創立総会が開かれまして、5月の7日には既に国際ロータリーの承認を受けられて居るのでありますから、東京から米国エバンストンの国際ロータリー中央事務局への郵便日数を考えに入れますと、如何にこのクラブの創立が円満に行われたかが判るのであります。最早創立後10年になられ、温かなロータリーとして成長せられ先年には子クラブ湯河原南クラブを創立せられロータリーの拡大にも力を入れて居られるのを見まして喜びに堪えないのであります。一層の御発展を御祈い申し上げます。